

## 第3章

# 韓国青年日本招へい

行動地図

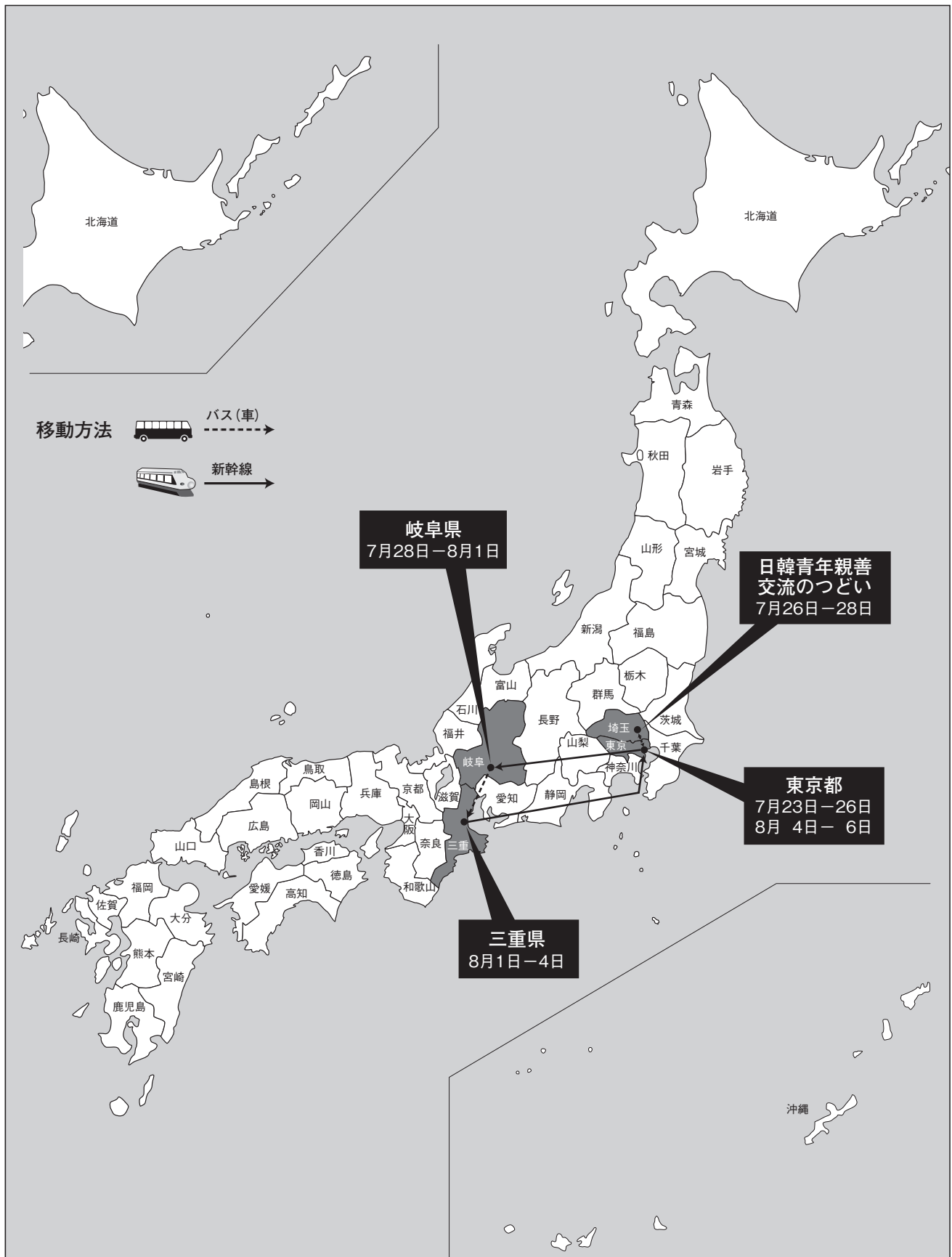
行動記録

事業報告



# 行動地図

令和元年度 韓国青年日本招へい



# 行動記録

令和元年度 韓国青年日本招へい

	月日	時間	行動日程	滞在都市
1	7月23日 (火)	10:10 15:00-15:20 15:30-17:00  17:30 18:30-19:30	韓国青年ソウル(仁川)発 (KE703) 福田正信内閣府青年国際交流担当室長表敬訪問 オリエンテーション ・事業概要説明、全体日程等説明 ・質疑応答 ホテル着 夕食	東京
2	7月24日 (水)	10:00-12:30  12:30-13:00 14:00-16:00  18:30-20:00	<テーマ別視察> 文京区青少年プラザ b-lab (ビーラボ) 訪問 ・アイスブレイクゲーム ・施設見学 ・文京区青少年プラザ b-labの取組紹介、質疑応答 昼食 裏千家東京道場訪問 ・薄茶のお点前実演 ・日本庭園の見学 福田正信内閣府青年国際交流担当室長主催歓迎会	
3	7月25日 (木)	10:00-12:00  12:00-13:00 13:00-14:45 19:00-21:00	<テーマ別視察> 東京外国語大学(言語文化学部 朝鮮語専攻)訪問 ・大学生とのディスカッション 昼食 ・大学生との交流およびキャンパスツアー 夕食	
4	7月26日 (金)	<日韓青年親善交流のつどい> 11:00 11:45 12:15-13:00 13:30-13:50 14:00-14:45 15:00-16:30 16:45-17:30 17:30-19:00 19:30-21:00	日本青年施設着、館内見学 韓国青年施設着 昼食 開会式 オリエンテーション アイスブレイク チェックイン、交流のタペリハーサル 夕食パーティー 日韓文化交流のタペ ・日韓両国青年による文化紹介	埼玉
5	7月27日 (土)	9:00-12:00  12:00-13:00 13:00-15:00 15:00-16:30 16:30-18:00 18:00-19:00 19:00-21:00	ディスカッション ①国際交流 ②教育 ③政治経済 ④文化 ⑤青少年活動政策 昼食 ディスカッション成果発表 日韓文化交流まつり 運動会 夕食 マニト結果発表&つどい振り返り	

月日	時間	行動日程	滞在都市
6 7月28日 (日)	9:00-11:15 11:30-12:00 12:00-13:00 13:15 14:30	共同制作 閉会式 昼食 施設発 東京駅着、解散	埼玉 ↓ 岐阜
	15:33	東京駅発 (ひかり519号)	
	<b>&lt;岐阜県プログラム&gt;</b>		
	17:27 18:00 19:00-20:00	岐阜羽島駅着 ホテル着 夕食	
	10:00-12:30  12:30 14:00  17:30 20:50	美濃市視察 ・美濃和紙あかりアート館見学 ・旧今井家住宅見学 ・町家ホテルNipponia美濃商家見学  昼食 美濃和紙会館 ・町家ホテルNipponia 辻社長による講演「美濃について、地域活性について」 ・館内見学 ・美濃和紙づくり体験  夕食 ホテル着	
	10:00-12:00 12:00-13:00 13:15-15:30  15:45-17:00 17:30-19:00 19:30	特定医療法人フェニックスグループ見学 ・施設見学  昼食 岐阜県立岐阜各務野高等学校訪問 ・福祉科及びボランティア部との交流 ・学校見学  世界淡水魚水族館「アクア・トトぎふ」 夕食 ホテル着	
8 7月30日 (火)	10:00-12:00 12:00-13:00 13:15-15:30  15:45-17:00 17:30-19:00 19:30	特定医療法人フェニックスグループ見学 ・施設見学  昼食 岐阜県立岐阜各務野高等学校訪問 ・福祉科及びボランティア部との交流 ・学校見学  世界淡水魚水族館「アクア・トトぎふ」 夕食 ホテル着	
9 7月31日 (水)	9:00-12:00  12:00-13:00 13:30-14:30 15:00 20:40-20:50	長良川うかいミュージアム ・地元青年によるミュージアム館内ツアー ディスカッション① (SDGs前半) 昼食(地元青年との交流会) ディスカッション② (SDGs後半) ホテル着 歓送会	
10 8月1日 (木)	10:00-10:45 11:00	服部敬岐阜県環境生活部長表敬訪問 県庁発	三重 ↓
	<b>&lt;三重県プログラム&gt;</b>		
	12:50-17:00  17:30 18:30	おやつタウン ・昼食 ・工場見学、製品作成体験  ホテル着 夕食	
11 8月2日 (金)	9:45-15:00  16:00-17:15 17:30-20:30	三重県立相可高等学校訪問 ・調理実習 ・文化体験  稲垣清文三重県副知事表敬訪問 歓迎会兼ホームステイマッチング	

	月日	時間	行動日程	滞在都市
12	8月3日 (土)	終日	ホームステイ	三重
13	8月4日 (日)	13:30	ホームステイから帰着	東京
		14:24 15:44	津駅発 名古屋駅発 (のぞみ232)	
14	8月5日 (月)	17:23	東京駅着	東京
		19:00 22:00	自由視察及び夕食 ホテル着	
14	8月5日 (月)	9:30-11:15	評価会	
		9:40-10:40	・グループディスカッション ①本事業に参加して学んだこと ②今後この経験をどのようにいかしていきたいか ③プログラムの要望等	
		10:45-11:15	・グループディスカッション成果発表	
		11:15-11:30	・内閣府による総評	
		11:45-13:00	福田正信内閣府青年国際交流担当室長主催歓送昼食会	
		13:30-18:00	日本青年との都内視察	
18:00	ホテル着 夕食			
15	8月6日 (火)	10:00-11:30	パナソニックセンター東京	東京
		11:45-12:45	昼食	
		12:45-14:00	お台場自由視察	
		15:00	成田空港着	
		17:20	東京(成田)発(KE702)	

# 事業報告

令和元年度 韓国青年日本招へい

内閣府は、令和元年度日本・韓国青年親善交流事業（第33回）による韓国青年代表団の招へいを、令和元年7月23日から8月6日までの15日間の日程で実施した。

代表団は、女性家族部女性人材開発課行政事務官の申尙澈<sup>シンサンチョル</sup>団長を始め、副団長、通訳及び団員の合計30名で構成された。

各地における活動の概要は、以下のとおりである。

## 東京プログラム（7月23日～25日）

7月23日15時、成田国際空港に到着した韓国青年代表団は、内閣府にて福田正信内閣府青年国際交流担当室長を表敬訪問した後、滞在日程や事業概要についてのオリエンテーションを受け、事業全般に対する理解を深めた。

7月24日午前、NPO法人カタリバが運営する文京区青少年プラザ b-labを訪れた一行は、文京区の中高生が放課後に自由に過ごせる居場所施設の見学や施設を運営するNPO法人カタリバの活動内容の説明を受けた。

午後は、裏千家東京道場を訪れた。薄茶のお点前を実演いただき、その後に、お茶菓子とともに薄茶をいただいた。さらに、伝統的な日本庭園を見学し、茶道の礼節と日本人のおもてなしの心に対する理解を深めた。韓国青年からは「日本人でもなかなかできない貴重な経験させて頂き、すごく光栄だった」「茶道に込められた昔の日本人の考え方をすることもできてすごく印象深かった」等の感想があった。

18時30分から都市センターホテルにて、福田正信内閣府青年国際交流担当室長主催の歓迎会が開催された。内閣府幹部を始め、青少年団体関係者、内閣府青年国際交流事業既参加青年等多くの出席者を前に、韓国青年は文化紹介としてダンスや歌等を披露し、盛況であった。

7月25日午前、一行は東京外国語大学を訪問した。南潤珍准教授から日本語と韓国語でのコミュニケーションの比較について講義を受けた後、言語文化学部朝鮮語専攻の学生と「日韓における相互理解のために、民間レベルでできること」についてディスカッションを行った。韓国青年からは、「講義を通じて日本語と韓国語の違いから文化の違いが分かったので良かった」「日韓の若い世代が友好的未来についてディスカッションをしたので、とても意味深かった」等の感想があった。

午後は、小グループに分かれて言語文化学部朝鮮語専攻の学生によるキャンパスツアーが行われ、キャンパス内を巡りながら交流を深めた。



職員から施設の説明を受ける  
(文京区青少年プラザb-lab)



韓国青年がお茶を頂く  
(裏千家東京道場)



## 日韓青年親善交流のつどい(7月26日～28日)

7月26日から28日まで、埼玉県越谷市にあるセミナーガーデンで日韓青年親善交流のつどいを開催した。

これは日韓両国の青年が一堂に会し、寝食を共にすることにより、互いの文化や考え方を理解することを目的としているプログラムであり、韓国青年代表団のほか、内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年からなる日本青年と、日韓青年親善交流のつどい実行委員を合わせて約80名が参加した。

今年度は「虹～七色の橋を越えて～」というテーマを設定した。ここには様々な色を持った青年たちが一つに集まったとき、その色のカケラは「虹」となり、日韓をつなぐ橋になってほしいという思いが込められている。主となるプログラムは、ディスカッションや日韓文化交流の夕べ、日韓文化体験企画等で構成した。

ディスカッションでは、韓国青年から希望があった「国際交流」、「教育」、「政治経済」、「文化」、「青少年活動政策」の5つのテーマで意見交換した。日韓両国の青

年は、それぞれのグループで青年が果たす役割等を意見交換し、有意義な時間となった。

日韓文化交流の夕べでは、日韓両国の青年が伝統舞踊や合唱、ダンスパフォーマンスなどを披露した。韓国青年による韓国の伝統楽器である奚琴や大笏の演奏、日本青年による二人羽織やソーラン節など、大変貴重な文化交流の場となった。

日韓文化交流まつりでは、主に日本の伝統遊びを参加者が自由に体験できる場とした。遊び方を教え合うことはもちろん、日本青年は浴衣を韓国青年は韓服を用意し、お互い着付け体験をすることで、楽しみながら文化を理解することができた。

本プログラムの実行委員15名は、6月上旬から準備を開始し、計4回の実行委員会に加えて、係別ミーティングなどを精力的に行った。それぞれの担当はプログラムの企画立案や当日の司会進行を行い、令和元年度日韓青年親善交流のつどいは成功裏に終了した。

### 目 的

日韓青年親善交流のつどいは日本・韓国青年親善交流事業に参加している韓国招へい青年と、内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年からなる日本青年が一堂に会し、研修施設での生活を共にすることにより、両国青年が相手国に対する相互理解、異文化理解の促進を図り、国際交流活動における感覚を向上させることを目的として実施する。

### 概 要

- |          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| (1) 事業名  | 令和元年度日韓青年親善交流のつどい                     |
| (2) 主催   | 内閣府                                   |
| (3) 開催期間 | 令和元年7月26日(金)～28日(日) 2泊3日              |
| (4) 開催場所 | セミナーガーデン(埼玉県越谷市)                      |
| (5) 参加青年 | 韓国招へい青年 30名<br>日本参加青年 34名<br>実行委員 15名 |



約80名の日韓青年が一堂に会し、交流プログラムを行う

## プログラム内容

7月26日 (金)	11:00 11:45 12:15-13:00 13:30-13:50 14:00-14:45 15:00-16:30 17:30-19:00 19:30-21:00	日本青年施設着、事前準備 韓国青年施設着 昼食 開会式 オリエンテーション アイスブレイク 夕食パーティー 日韓文化交流の夕べ ・日韓両国青年による文化紹介
7月27日 (土)	9:00-12:00  12:00-13:00 13:00-14:00 14:30-16:00 16:00-17:50 18:00-19:00 19:30-21:00	ディスカッション ① 国際交流 ② 教育 ③ 政治経済 ④ 文化 ⑤ 青少年活動政策 昼食 ディスカッション成果発表 日韓文化交流まつり 運動会 夕食 つどいの振り返り
7月28日 (日)	9:00-11:15 11:30-12:00 12:15-13:00 13:15 14:30	共同制作 閉会式 昼食 会場発 東京駅着、解散

## プログラム詳細

### ● アイスブレイク

韓国青年の不安を取り除き、緊張を和らげ、一人でも多くの人と交流し、お互いの顔と名前を覚えることで3日間により深い友情を築けるためのきっかけをつくるゲームを行った。

「〇〇といえば」、「果物狩りに行こうよ」などお互いのコミュニケーションが欠かせないゲームでプログラムを構成し、参加者間の積極的な交流ができるようにした。



### ● 日韓文化交流の夕べ

日韓両国の青年たちが、それぞれ準備した自国の文化を紹介し合った。青年たちは各自、伝統衣装や文化紹介用の衣装に身を包みパフォーマンスを行った。

日本青年は、ソーラン節やK-POP・J-POPダンスのほか、合唱や二人羽織を行った。

韓国青年は、伝統楽器の演奏、テコン舞やK-POPダンス、歌などを披露した。





## ● ディスカッション

「国際交流」「教育」「政治経済」「文化」「青少年活動政策」の五つのテーマディスカッションを行った。

青年たちは、それぞれが関心のある分野で自国の現状を紹介するとともに、共通点や差異を見出しながら積極的に意見交換した。最後は各グループが話し合った内容を発表し、成果を共有した。

### 【ディスカッションテーマ】

<国際交流>国際交流が青年個人の進路に与える影響

<教育>学校暴力の実態とそれに対する予防策及び対策の実態

<政治経済>青年失業率及び就職

<文化>両国のYouTube文化の違いと認識、YouTubeに対する意見と関心事

<青少年活動政策>青少年のネット中毒に対する社会的認識及び治療プログラム

### 【ディスカッション成果】



## ● 日韓文化体験まつり

日本青年は「虹」というつどいのテーマに沿って、日本の様々な文化が体験できる7つのブースを用意した。けん玉、だるま落とし、おみくじ、かるた、輪投げゲームなど、日本の伝統的な遊びを日本青年が韓国青年に教える中で、自由に交流できる場となった。

また、浴衣の着付けブースでは韓国青年も韓国の伝統衣装である韓服を用意し、お互い着付け体験をすることで相手国に対する理解を深めることができた。



### ● 運動会

テーマの「虹」にちなみ、七色の日韓合同チームを作り、対抗戦を行った。単語・伝言ゲーム、借り物競争、玉入れなど、チームの協力が必ず必要なゲームを行いながら点数を競い合った。

チームのメンバーで協力することで、自然とコミュニケーションをとることができた。



### ● つどいの振り返り

2日目の夜には「あなたの心にかかった虹はどんな色？」というテーマでつどいを振り返り、意見を交換する場が設けられた。参加青年はつどい参加を通して、相手国への印象がどう変わったのか、また、どういう気持ちの変化があったのか等を率直に話しあうことで、国境を越えた友達をつくることができた。



### ● 共同制作

最後の企画として日韓青年は一緒に大きな「虹」を作った。七色の切り紙を模造紙に貼って作った虹は「七色の橋」を越えて、日本の文化を韓国に伝えるという今回のつどいのテーマを表す。全員で一つのものを作り上げることでさらに絆を深め、また3日間を振り返りながらテーマをもう一度確認することができた。



## 日本参加青年名簿

No	名前	参加事業
1		平成30年度 日本・韓国青年親善交流事業
2		一般参加青年
3		平成29年度 日本・中国青年親善交流事業
4		一般参加青年
5		一般参加青年
6		一般参加青年
7		明治150年記念 「世界青年の船」 事業
8		一般参加青年
9		一般参加青年
10		平成30年度 「世界青年の船」 事業
11		一般参加青年
12		一般参加青年
13		一般参加青年
14		一般参加青年
15		令和元年度 日本・韓国青年親善交流事業
16		一般参加青年
17		明治150年記念 「世界青年の船」 事業
18		一般参加青年
19		令和元年度 日本・韓国青年親善交流事業
20		一般参加青年
21		一般参加青年
22		一般参加青年
23		一般参加青年
24		一般参加青年
25		平成28年度 日本・韓国青年親善交流事業
26		平成29年度 「世界青年の船」 事業
27		一般参加青年
28		一般参加青年
29		平成30年度 日本・中国青年親善交流事業
30		一般参加青年
31		一般参加青年
32		一般参加青年
33		一般参加青年
34		平成27年度 「世界青年の船」 事業

## 実行委員名簿

No	名前	担当	参加事業
1		実行委員長 運動会、共同制作	
2		副実行委員長 ディスカッション、運動会	
3		副実行委員長 文化交流の夕べ、ディスカッション、 日韓文化交流まつり	平成28年度 日本・韓国青年親善交流事業
4		運動会、振り返り・マニト	
5		ディスカッション、 日韓文化交流まつり	
6		アイスブレイク、共同制作	
7		文化交流の夕べ、運動会、 日韓文化交流まつり	平成28年度 日本・韓国青年親善交流事業
8		振り返り・マニト、共同制作	平成29年度 日本・韓国青年親善交流事業
9		文化交流の夕べ、 振り返り・マニト	
10		ディスカッション、共同制作	
11		文化交流の夕べ、 ディスカッション	平成20年度 「世界青年の船」事業
12		ディスカッション、 日韓文化交流まつり	平成30年度 日本・韓国青年親善交流事業
13		アイスブレイク、 日韓文化交流まつり	
14		アイスブレイク、運動会	
15		運動会、振り返り・マニト	平成28年度 日本・韓国青年親善交流事業